

# 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の改定について

## 1 背景

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について～全ての子供たちへのよりよい教育の実現を目指した、学びの専門職としての「働きやすさ」と「働きがい」の両立に向けて～」(令和6年8月27日)を受けて、教育公務員特例法に基づいて定める「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」(以下「指針」という。)の一部が改正されました(令和7年2月21日)。これを踏まえ、愛媛県教育委員会は、「校長の指標」及び「教員のキャリアステージにおける指標」(以下「指標」という。)の内容を見直し、改定しました。

## 2 方針

指標は、校長及び教員が、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化したもので、研修等を通じて資質向上を図る際の目安であるとともに、効果的・継続的な学びに結び付ける意欲を喚起するよう、体系的に示されています。

今回の改定においては、指針の改正の概要及び留意事項に基づき、指標の「観点」や「キーワード」、「キャリアステージ」等の基本的な枠組みは維持し、「求められる資質・能力」の表現と要点を整理しました。指標の体系的性を保ちながら、学校現場の実情に即した実効性と汎用性を備えた愛媛県ならではの指標として活用していくことで、愛顔あふれる「教育立県えひめ」の実現に向けて、主体的に学び続ける教員像の確立を目指します。

## 3 運用開始

令和8年4月1日

## 4 改定内容

### (1) スローガンの表示

求められる教師像の実現が示す方向性と価値を明確にし、その理念を共有するために、「愛媛の子どもたちのために－学校教育の質の向上を通じた、全ての子どもたちへのよりよい教育の実現－」というスローガンを、校長及び教員の指標の最上部に掲げました。

### (2) 校長の指標

#### ① 「リーダーシップ」「マネジメント力」の表示

学校経営方針の提示、組織づくり、学校外との連携、働き方改革といった基本的役割を果たす上で重要とされる校長の「リーダーシップ」と「マネジメント力」を、全ての観点・キーワードに関わる基盤的な素養として位置付け、中央部に明記しました。

② 求められる資質・能力（太字、下線部が改定箇所 以下同じ）

| 観点     | キーワード           | 改定後                                                                                             | 改定前                                                                       |
|--------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 実践的指導力 | 人材育成            | 教育実践・学校経営に対する高い識見や理念、情熱を持ち、高度な実践的指導力を備えた主体的に学び続ける教職員の育成に努める。                                    | 教育実践・学校経営に対する高い識見や理念、情熱を持ち、高度な実践的指導力を持った教職員の育成に努めるとともに、個々の指導力を統合する。       |
|        | 教育ビジョン          | 人々が是非とも達成したいと思える教育ビジョンを設定し、地域の関連諸機関を巻き込んだ教育戦略の立案・展開によって具現化する <u>とともに、教育DXを推進する。</u>             | 人々が是非とも達成したいと思える教育ビジョンを設定し、地域の関連諸機関を巻き込んだ教育戦略の立案・展開によって、具現化する。            |
| 組織力    | チームワーク          | 教職員相互が支え合い、高め合う高度なチームワークを <u>持ち、それぞれの専門性を生かして能力を発揮できる組織を開発する。</u>                               | 教職員相互が支え合い、高め合う高度なチームワークを持った組織を開発する。                                      |
|        | 安心・公正           | 教職員が安心して挑戦することができ、努力した者が報われる、公正で、 <u>働きやすさと働きがい</u> が <u>両立する職場環境を構築する。</u>                     | 教職員が安心して挑戦することができ、努力した者が報われる、公正でやりがいあふれる職場環境を醸成する。                        |
| 信頼構築力  | 様々な専門・支援スタッフの活用 | <u>教員・事務職員等と様々な専門・支援スタッフ相互のよりよい信頼関係の下に</u> 教職員組織を編成し、全ての教職員がワーク・ライフ・バランスを充実させながら活躍できる職場環境を構築する。 | 様々な専門・支援スタッフの活用を視野に入れた教職員組織を編成し、全ての教職員がワーク・ライフ・バランスを充実させながら、活躍できる組織体制を築く。 |

高度な実践力を備えた主体的に学び続ける教職員の育成、教育DXの活用による学びの質向上と業務改善、さらには、多様な専門・支援スタッフとの信頼関係と連携の強化を通じて、「働きやすさ」と「働きがい」が両立する環境を整え、「チームとしての学校」づくりを一層推進していくことを目指しています。

(3) 教員のキャリアステージにおける指標

求められる資質・能力

| 観点     | キーワード       | 改定後                                                                                                            | 改定前                                                   |
|--------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 実践的指導力 | 教科等指導力      | <u>個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現する指導力を身に付ける。</u>                                                   | 児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に努める。<br>授業研究等により、指導技術の向上に努める。    |
|        | I C T活用能力   | <u>児童生徒の情報活用能力を育成し、I C T機器を活用して主体的・対話的で深い学びを実現する。</u>                                                          | I C T機器を活用して主体的・対話的で深い学びの実現に努める。                      |
|        | 生徒指導力・教育相談力 | <u>児童生徒の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える働きかけを行う。</u><br>児童生徒の発するサインを見逃すことなく寄り添い、 <u>深い児童生徒理解に努め、課題に適切に対応する。</u> | 児童生徒の発するサインを見逃すことなく対応する。<br>児童生徒に寄り添い、話をよく聞き、適切に対応する。 |

令和の日本型学校教育の中心概念である「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を実現し、「主体的・対話的で深い学び」を導く指導力の向上、児童生徒の情報活用能力の育成の重視、発達支持的生徒指導に基づいた全ての児童生徒に寄り添った教育的支援の一層の充実を目指しています。

これらの3つのキーワードは、早期から継続的に指導力を高めていくことを踏まえて、キャリアステージの「基盤形成期」と「資質・能力向上期」を統合しました。